

# 劇場留学

## ～『モモ』と時間の旅～

### 出演者大募集！

#### 募集要項

世界中で愛される不朽の名作童話『モモ』（ミヒヤエル・エンデ 作）を  
皆さんと共にオリジナル演劇作品につくりあげます！  
第一線で活躍するプロの俳優・ダンサー・スタッフと一緒に、  
劇場で"時間の旅"に出てみませんか？

原作：ミヒヤエル・エンデ作 大島かおり訳 岩波書店刊『モモ』

Copyright © Michael Ende Estate (www.michaelende.de), represented by AVA international GmbH, Germany (www.ava-international.de)

脚本・演出・美術：川口智子

振付：木原浩太

出演：公募で選ばれた皆さん、李そじん、埜本幸良、木原浩太

照明：横原由祐

上演日程：2025年3月28日（金）～30日（日）

上演会場：小田原三の丸ホール 小ホール

主催：市民ホール文化事業実行委員会・小田原市 広報協力：FM小田原

＜応募期間＞  
7/17(水)～  
8/6(火) 必着

応募の詳細は次頁以降の募集要項をご確認ください⇒



【お問合せ】小田原三の丸ホール（文化政策課 市民ホール事業係）  
TEL：0465-20-4152（9:00～21:00※第1・3月曜休館、祝日の場合翌平日）  
MAIL：hall-jigyo@city.odawara.kanawaga.jp

### <企画概要>

小田原三の丸ホールでは、昨年夏に「劇場留学～お芝居をつくる7日間～」を実施しました。プロの演出家・大道芸人・映像作家・照明家たちと、小学生と訪日外国人の参加者が一緒に、小田原のエッセンスを盛り込んだ演劇作品をつくり、発表しました。

第二弾となる今回は、世界中で親しまれるミヒャエル・エンデの『モモ』のオリジナル演劇作品に挑戦します。昨年に引き続き、全国各地の人々と“劇場”をつくってきた演出家・川口智子さんをはじめ、振付家・ダンサーの木原浩太さん、俳優の李そじんさん、埜本幸良さん等、第一線で活躍するプロのアーティスト、そしてオーディションで選ばれた皆さんと一緒に創作・上演します。子どもから大人まで、誰もが楽しめる作品を目指します。小田原三の丸ホールならではの「モモ」をつくるのは皆さんです！ お会えるのを楽しみにしています。

---

### 『モモ』あらすじ

町のはずれ、廃墟の円形劇場にひとりて住みついた不思議な子、モモ。モモのまわりにはいつでも子どもや大人がいて、モモに話をきいてもらっていました。モモが町の人に面倒を見てもらっているように、モモも町の人たちにとってかけがえのない存在だったのです。そこへ時間どろぼうの「灰色の男たち」がやってきて、町の人たちの時間を盗み始めます。町にはゆっくりお喋りをする人も、一緒に泣いたり笑ったりする人もいなくなってしまいます。町の人々の時間を取り戻すために、モモが向かった先は……。

### 《募集対象》

- ・6歳以上(小学校1年生)～何歳でも
- ・募集出演者人数は20名程度

### 《応募資格》

- ・企画に興味を持ち、他の参加者たちと協力しながら、責任と意欲をもって最後まで一緒に舞台づくりに参加できること。
- ・決められた稽古日程および本番日程に参加できること。
- ・ご自身または保護者の方の送迎にて、オーディション会場、稽古場所および本番会場に通うことができること。なお、市内在住・在勤・在学は問いません。
- ・電子メールでの連絡が可能であること(18歳以下の方は保護者の代理可)。及び、電子メール等による連絡およびコミュニケーションがスムーズに行えること。
- ・顔・氏名の公表による広報活動にご協力いただけること。
- ・18歳以下(2006年4月2日以降生まれの方)は、事前に保護者の承諾を得ていること。

《オーディション参加費》

無料

※お申込み郵送費はご自身でご負担ください。

《参加費》※オーディション合格者のみ

18歳以下(2006年4月2日以降生まれの方):5,000円

一般:8,000円

※オーディション、稽古、本番に参加するための交通費や宿泊費の支給はありません。

※出演料のお支払いはありません。

※チケット販売のノルマ等はありません。

《選考の流れ》

第一次審査:書類選考

2024年7月17日(水)~2024年8月6日(火)必着

選考結果は2024年8月15日(木)までに郵送でお知らせします。

第二次審査:オーディション

●日時

2024年8月31日(土)①14時~ ②15時15分~ ③16時30分~ ④17時45分~

2024年9月1日(日)⑤10時~ ⑥11時15分~

会場:小田原市内(詳細は郵送する書類選考結果にてお伝えします)

※オーディション日時は、上記①~⑥の時間帯から、一次選考通過通知で指定します。

※参加不可の時間帯がある場合、および、上記の時間帯全てにおいて、オーディションを受けることができない場合は、応募用紙に必ずご記載ください。

●年齢に応じてグループ分けをしてオーディションします。

A:6歳~12歳(小学生相当年齢)

B:12歳~18歳(中学生・高校生相当年齢)

C:19歳以上

●内容(1グループあたり60分)

1. 自己紹介・コミュニケーションゲーム
2. ダンス(簡単な振付を覚えて、グループで踊っていただきます)
3. 特技/個人(特に披露したい特技があれば、ご準備ください)

《最終結果通知》

9月9日(月)までに、担当者より電子メールにてご連絡します。

※選考結果についてのお問合せはご遠慮ください。

※選考の理由は合格・不合格にかかわらずお応えしません。ご了承ください。

※応募書類の返送はしません。応募書類は本事業以外の目的では使用しません。

《審査員》

川口智子(演出家)、木原浩太(振付家・ダンサー)、李そじん(俳優)

《申込方法》

必要事項を記載した「応募用紙」、「顔写真(バスタップ)」、「画像・動画撮影とその使用に関する同意書」を、下記住所宛に郵送または小田原三の丸ホール窓口へご持参ください。

●申込期間

7月17日(水)～8月6日(火)必着

●申込み先

[郵送先]〒250-0012 神奈川県小田原市本町1-7-50 小田原三の丸ホール  
市民ホール事業係「劇場留学」オーディション担当 宛

[窓口]9:00～20:00※休館日:8/5(月)

※メールでの申込みは受付ておりません。

◆◇◆おためしワークショップ◇◆

どんなふうに稽古するの? プロのアーティストってどんな人?

演出家 川口智子さん、振付家・ダンサー 木原浩太さんと一緒に、

実際の稽古の雰囲気味わうことのできる「おためしワークショップ」を開催します。

出演してみたいけど迷っている方、不安な方、とりあえず覗いてみたい方など、

この機会にぜひご参加ください!

【日時】7月11日(木) 19:00～20:45

【会場】小田原三の丸ホール 小ホール

【料金】無料(要申込)

【持ち物】動きやすい服装・靴、飲み物

【対象】小学生以上ならどなたでも。約20名。

※保護者の見学はできません。

お子さまと一緒にのご参加は大歓迎です。



▲申込みはコチラから

[申込受付期間]6/12(水)～7/7(日)



《主なスケジュール》 2024.6/25(火)時点

※小田原市役所、生涯学習センターけやき、小田原スポーツ会館、小田原三の丸ホールを中心に、小田原市内の施設で行います。

※オーディション合格後、スケジュール調整にご協力ください。

※どうしても参加できない日時がある場合は、必ず応募用紙にご記載ください。

※スケジュールは変更になる可能性があります。

◎説明会 9/26(木)19:00~20:30

オーディション合格者の顔合せ、一緒に作品をつくっていくにあたっての心構えやスケジュール、ハラスメント対策の確認をします。

◎本読み稽古 11/9(土)13:00~16:00

台本に書かれている役のセリフなどを、声に出して読んでみます。

◎プレ稽古

12/14(土)、12/15(日)、2025.1/11(土)、1/12(日) 13:00~18:00

本格的な稽古に入る前に、セリフの覚え方や身体の使い方等を覚えます。

また、初回は出演者・スタッフ・関係者が集まって顔合わせも行います。

◎稽古 計20回予定

2/1(土)、2/2(日)、2/8(土)、2/9(日)、2/11(火・祝)、2/15(土)、2/16(日)、2/22(土)、  
2/23(日)、3/1(土)、3/2(日)、3/8(土)、3/9(日)、3/15(土)、3/16(日)、3/17(月)、  
3/18(火)、3/19(水)、3/20(木・祝)、3/22(土)、3/23(日)

土日祝 10:00~18:00、平日 17:30~22:00 ※中学生以下は21:00まで

※稽古の進捗によっては、時間帯が多少前後する可能性や、お休みになる場合があります。

◎舞台稽古 3/25(火)、3/26(水) 17:30~22:00 ※中学生以下は21:00まで

本番の会場・美術・衣裳で稽古をします。

◎ゲネプロ(リハーサル) 3/27(木) 17:30~22:00 ※中学生以下は21:00まで

本番の会場・美術・衣裳で本番と同じように最初から最後までお芝居を通して稽古をします。

◎本番 3/28(金)、3/29(土)、3/30(日)

3/28 夜公演、3/29 昼公演・夜公演 3/30 昼公演

## 一緒に参加するアーティストからのメッセージ・・・・・・・・・・・・・・・・

### 川口 智子 (Kawaguchi Tomoco) / 演出家 Theatre director



むかしむかしの町には、王さまの宮殿、ひろびろとした大通りとせまい裏通り、寺院、市場、広場、そして大きな劇場がありました。長い時間が流れて町の景色は変わり、人々の生活も変わり、そして劇場も廃墟になりました。その廃墟に、ひとりの女の子が住んでいるらしい——名前はモモ。

物語はこんな風に始まります。廃墟の劇場でモモと一緒に遊ぶ子どもたち、モモと仲良しの町の人たち、どこからか現れて時間を盗んでいく「灰色の男たち」！この物語を小田原の子どもたち、大人たちと一緒に劇場

で上演するワクワクな冒険が今回の「劇場留学～『モモ』と時間の旅～」です。町をつくるように劇をつくりまします。町にいらない人がいないように、劇場はみなさんの場所でありたいと思います。お芝居なんてやったことない……という不安があっても大丈夫。お芝居は英語では play=遊びなんです。遊んだことのない人は……いないですね？ いろいろな人と劇場で出会って、アイデアを交換したり、大きな壁にびっくりしたり、たまにぼーっとしたりしながら、劇場に集まった人で一緒に物語（今回はミヒャエル・エンデの『モモ』！）を紡ぎまします。応募の一步はちょっと勇気がいるところ。お待ちしております！

<プロフィール>演出家。演劇、音楽、ダンス、映画、伝統芸能などジャンルを超えた創作や、海外のアーティストとの協働企画を展開。主な演出作品にコンテンポラリー・バンク・オペラ『4時48分精神崩壊』（作：サラ・ケイン、音楽：鈴木光介）。市民／公共ホールとの取り組みに「くにたちオペラ『あの町は今日もお祭り』（作：多和田葉子、作曲：平野一郎）、ミュージカル『回転木馬』（四日市市）、「劇場留学～お芝居をつくる7日間～」（小田原市）など多数。0歳からの小さな劇場『太陽のタネ』『海のツブ』や、『エンデの遺言』を読むなどの「大人の読み聞かせ」をシリーズで手掛けるほか、まち中に劇場をつくって遊ぶ「ほころびオーケストラ」としても活動中。

### 木原 浩太 (Kihara Kota) / 振付家 Choreographer・ダンサー Dancer



皆様こんにちは！ダンサー、振付家の木原浩太です。僕も今回この「劇場留学」は初めてですが、参加者の皆さんの大きなエネルギーと共に新しい作品を創れること、とても楽しみにしています！ダンスが未経験、苦手、でも大丈夫です！もちろんダンスが得意、大好き！も大歓迎です！僕が一から振付を創って用意する、というよりその場その場で皆さんの顔を見ながら振付を創るのでどんな振付、作品になるかは楽しみに！自分も楽しみです！何か一つでも二つでも100個でも持ち帰ってもらえたら、いや、持ち帰ることになるであろうこの舞台、是非一緒に楽し

んでやりましょう！皆様のご応募お待ちしております！

<プロフィール>加藤みや子ダンススペースメンバー。2012年よりCo.山田うんに参加。両カンパニーの他、国内外の振付家の作品に参加。ミュージカルや商業舞台でも活躍。バレエ団やミュージカル、大学などへの委託振付、都民フェスティバルへの作品出品など振付家としても活動しており、個人作品やユニット作品での海外フェスティバルへの招聘も多数。文化庁在外研修員としてオランダ、ベルギーへ留学。日本大学総長賞、国内コンクールグランプリ6回、東京新聞制定中川鋭之助賞、現代舞踊協会奨励賞、オンステージ新聞新人振付家ベスト1など受賞多数。都内ダンススタジオや各都道府県のダンススタジオにてワークショップやクラスを開催。後進の指導にも力を入れており、指導者賞も多数受賞している。



## 李 そじん (Lee Sojin) / 俳優 Actor



作品に向かって、真剣に、誠実に、まっすぐな魂と遊び心を持って、楽しく取り組むこと。それが普段稽古場で心掛けていることで、今回もそう在れたらなと願うことです。

人と人が集まって、時間をかけてひとつの演劇をつくる。

ひとりとして同じ人はいないから、時に誰かとぶつかったり、ぶつかったしまった自分の狭さに反省したり、誰かの凄さに心ときめいたり、逆に自分と比べてへこんだり、誰かに助けられて嬉しい気持ちになったり、

それはもう、様々なことが自分の外でも中でも日々起こり続けて、それを繰り返しているうちに気づけば作品の初日を迎え、幕が下りて、そしてまたそれぞれの場所に帰っていく。この贅沢な一期一会を、大切に愛しくおもいながら、つくっていきたいです。

<プロフィール>俳優。1990年生まれ、東京都出身。青年団・東京デスロックに所属。日本大学芸術学部演劇学科在学中より演劇活動をはじめ、藤田貴大、蓬萊竜太、根本宗子、山本卓卓、玉田真也、柴幸男、野田秀樹など、さまざまな演出家の作品に出演。

映画「夜明けの夫婦」(山内ケンジ監督)、「テン・ストーリーズ」(山西竜矢監督)に出演するなど、映像作品にも活躍の幅を広げている。

近年の出演作は、東京演劇道場「わが町」KAAT×東京デスロック×第12言語演劇スタジオ「外地の三人姉妹」など。2024年夏秋にはNODA・MAP「正三角関係」への出演が控えている。

## 桒本 幸良 (Nomoto Sachiro) / 俳優 Actor



今回原作となる児童文学「モモ」と出会い、私は小さなモモとその周りに集まる友人たちとのお話が大好きになりました。モモが会いたくて堪らないひとりひとりの魅力的な登場人物、取り戻したい日常の時間、そして不敵に迫ってくる灰色の男たち。それらが生身によって立ち上がるかと思うと俳優としてワクワクします。ですが、そのどれを演じるにしても1人では出来ないことだと思っています。なぜなら登場人物たちの間には、それぞれが相手に向ける眼差しがあり、温度を持った風が流れ、そして蓄積された時間があるからです。私は出演される皆さんとそうい

った人と人との間に生まれるものを大切にしながら、あの愛おしい時間を舞台に創りあげたいと思っています。

<プロフィール>1986年生まれ。岐阜県出身。劇団・範宙遊泳に所属。劇団の出演作品では、東京、横浜、クアラルンプール、バンコク、杭州、ニューヨーク、岩手など国内外のツアーを行った『幼女X』、シンガポール THE NECESSARY STAGEとの国際コラボレーション『SANCTUARY-聖域-』、第66回岸田國士戯曲賞受賞作品『バナナの花は食べられる』などに出演。また、まちなかでほころぶ実演集団「ほころびオーケストラ」では企画・パフォーマンスを担当し、劇場・野外を問わず作品を創作している。



小田原三の丸ホール

ODAWARA  
SANNOMARU  
HALL